



## 市議会だより

No.55 平成28年5月1日号



国分・堀川神社御柱祭山出し

6月定例会は  
6月6日(月)  
開会です。

|                    |    |
|--------------------|----|
| 本会議の概要 .....       | 2  |
| 委員会審査の概要 .....     | 4  |
| 26人の議員が市政を問う ..... | 6  |
| 請願の審査結果 .....      | 17 |
| 会派視察報告 .....       | 18 |
| 行政視察受入状況 .....     | 20 |
| 編集後記 .....         | 20 |

## 未来の宝 紹介



### 中央子育て支援センター（にじいろひろば）

#### 「おともだちといっしょ、たのしいな」

「にじいろひろば」には、7つの色が集まってできる虹のように、いろいろな人が出会い、みんなで築き上げる楽しいひろばにしたい、という思いが込められています。

毎日たくさんの親子が集まり、様々な表情を見せてくれます。一緒に遊んだり、けんかしたり、泣いたり笑ったり……。にじいろにキラキラ輝いています。



### 神科子育て支援センター

#### 「みんなの憩いの場」

市内で最も小さなフロアの神科子育て支援センターは、家庭的な雰囲気を好む親子や小さな赤ちゃん連れの親子が多く利用しています。上田菅平インターに近い立地から、転勤世帯の親子の利用も多く、上田での友達づくりの場になっています。

## 3月定例会

## 平成28年度当初予算を可決

## 上田市公立大学法人評価委員会条例を制定

3月定例会は、2月22日から3月16日まで24日間の会期で開かれました。

市長提出議案は平成28年度一般会計予算をはじめ各特別会計の当初予算や条例、権利放棄に係る議案等が提出され、採決の結果、すべて可決しました。最終日には、国の地方創生に係る補正予算に関する議案が提出され、可決しました。

また、一般質問では、5会派の代表質問と、21人の個人質問が行われ、市政の課題について活発な議論が交わされました。



## 予 算

一般会計当初予算は686億6600万円余

前年比29億2700万円余の減額に

平成28年度一般会計予算は、総額686億6600万円余となりました。これは、昨年度に比べて4.1%、金額にして29億2700万円余の減額となっています。おもな要因は、市内小中学校の耐震化事業のピークが過ぎたことや丸子小牧線バイパス等の事業の完了によるものです。また特別会計8会計と企業会計5会計を合わせた合計は、547億2500万円余で、昨年度と比較して0.1%、金額にして6200万円余の減額となっています。

一般会計の主な内容としては、長野大学について「公立大学法人化関係事業」74万円、定住人口増加策推進のための事業を実施する経費「定住人口増加策推進事業」316万円、合併10周年記念事業実施に係る経費として「合併10周年記念事業」1764万円、住民自治組織が設立された地域において、地域まちづくり計画の策定をはじめ、地域の課題解決や地域振興に対して住民相互の連携・協力を深め、定着させるための活動を支

援する「住民自治組織交付金」1450万円、平成28年度で第二次上田市男女共同参画計画が終了することから、条例に基づき新たな計画を策定する「男女共同参画計画策定事業」202万円、幼児期の成長に配慮した安心・安全なメニューを提供してきた保育園給食について、これまで蓄積されたメニューのレシピ集を製作・販売する「保育所給食レシピ集発行事業」45万円、神川第1・第2保育園を統合した保育園及び神川地区公民館を移転新築するための実施設計等経費「保育所建設事業」2794万円、南小学校区の学童保育所「トットの家」と分室「スマイル」を統合・新築する「放課後児童クラブ施設整備事業」7千万円、母子保健に精通した専門職による「母子保健コーディネーター」を2名配置し、妊娠期から乳幼児期まで切れ目ない相談支援を実施することともに、母子保健に関する相談のワンストップ体制を整備する「子育て世代包括支援センター事業」479万円、「信

濃の国上田健康体操」をラジオ体操や健康うえた21体操と効果的に組み合わせ、全市域で定期的に実施することで、運動の習慣化を促す「あたま・からだ元気体操事業」80万円、生ごみを自家処理し、ごみ減量に協力していただける世帯へのインセンティブとして、無料の燃やせるごみ袋を製作・配布する「生ごみ出しません袋(仮称)の配布」13万円、Uターン希望者の就職相談に対し、就職情報等を提供するとともに、地域企業での職場体験研修を実施する「Uターンと地域若者等定住就職支援事業」3千万円、都市と農村の交流促進を図るため、中山間地域総合整備事業を実施している豊殿地域に滞在型市民農園を整備する「都市農村交流推進事業(クラインガルテン整備事業)」450万円、菅平地区に整備予定の体育館、トレーニング室を備えた地域振興施設的设计委託料「菅平地区振興施設整備事業」4500万円、空家等の適切な管理を進めるために行う空家実態



現地調査や所有者特定作業に係る業務委託「空家対策推進事業」3200万円、県の高校生等奨学給付金制度の対象外となる低所得世帯に対して市が独自に給付を行う「高校生を対象とした給付型奨学金支給事業」

907万円などです。

また、最終日には平成27年度、28年度一般会計補正予算が追加提出され、平成27年度一般会計予算は、追加提案された分を合わせた9984万円余を増額補正し、719億907万円余となりました。

した。平成28年度一般会計補正予算は、866万円が補正計上されました。これは、昨年逝去された半田孝淳氏の市公葬を行うための経費で、それぞれ、可決されました。

## 条例

### 公立大学法人評価委員会条例など全23件を可決

今定例会では、新設条例6件のほか、既存条例を一部改正する条例16件と廃止1件が提案され、全て可決されました。

主なものでは、「公立大学法人評価委員会条例」は長野大学の公立大学法人化について、地方独立

行政法人法の規定に基づいて設置が義務付けられている、公立大学の中期目標に対し意見を求めるための評価委員会を設置するため、必要な事項を定めるものです。

「行政不服審査会条例」は、行政不服審査法の改

正に伴い、法に基づく市長の附属機関として行政不服審査会を設置するため、組織・運営に関して必要な事項を定めるものです。

「消費生活センター条例」は、消費者安全法の改正に伴い、消費生活センターの組織及び運営に

#### 【その他可決した条例】

- ・行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例
- ・上田市職員の給与に関する条例等の一部改正
- ・上田市職員の降給に関する条例
- ・上田市職員の退職管理に関する条例
- ・人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部改正
- ・議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関

- する条例中一部改正
- ・税条例中一部改正
- ・手数料条例中一部改正
- ・印鑑登録及び証明に関する条例中一部改正
- ・指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び指定地域密着型介護予防サービスに関する条例
- ・指定地域密着型介護予防サービスに関する条例中一部改正
- ・国民健康保険税条例中一部改正
- ・地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例中一部改正
- ・建築審査会条例中一部改正
- ・消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例中一部改正
- ・消防団員等公務災害補償条例中一部改正
- ・防災センター条例中一部改正
- ・積立基金条例等中一部改正等

## 事件決議

### 新市建設計画の変更など8件を可決

事件決議では、市町村の合併の特例に関する法律の規定により、新市建設計画を変更する議案のほか、しなの鉄道線・上田・西上田駅間の上田城跡公園・上田駅前とサントミューゼ方面を結ぶ道路の踏切新設その他工事に関する協定締結についての議案が提出され、それぞれ可決されました。

受け、「住民自治組織」と「危機管理」に関する規定を新たに追加するため、所要の改正を行うものです。

「都市計画事業上田駅

## 意見書

### 「児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書」を国に対し送付

「児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書」は、家庭や地域における養育力の低下、子育てに対する不安、負担感の増大により、児童虐待の相談対応件数は増加の一途をたどり、複雑困難

このほか、議会提出の議案として、「市長専決処分事項の指定についての一部改正」と昨年12月に逝去された上田市名誉市民である半田孝淳氏について、上田市名誉市民条例に基づく市公葬を行うための「市公葬についての決議」が提出され、それぞれ可決されました。



しなの鉄道線 上田・西上田駅間  
踏切新設予定箇所

#### 【その他可決した事件決議】

- ・辺地総合整備計画の策定について
- ・上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄することについて
- ・公有財産の無償譲渡について
- ・西部公民館整備事業に係る用地の取得の変更について

#### ◆人事案件

- 人権擁護委員の推薦
- 金井航三（長島）
- 樋口孝子（神畑）
- 樋口時夫（国分）

## 上田市公立大学法人 評価委員会条例制定

**問** どのような委員構成を想定しているのか。

**答** 大学の教育研究に関する有識者2名、会社経営者等経営に関する有識者2名、公認会計士や税理士等法人会計に詳しい方1名の計5名を想定している。

**問** 市が定める中期目標と大学が定める中期計画はどのような関係にあるのか。また、中期目標はいつまでに策定予定か。

**答** 中期目標は市が評価委員会の意見を聞いて策定するものであり、大学の設置主体として6年間の大学の方向性を決めるものである。一方、中期計画は大学がその中期目標の内容に沿って運営主体として何を行うかを細かく策定するも

のであり、評価委員会の意見を聞いて市が認可するものである。中期目標の策定については、議会の議決が必要であり、12月定例会に上程できるように進める。

## 平成28年度一般会計予算

**問** 庁舎の耐震化に係る調査業務の委託料はどのような調査を予定しているのか。

**答** 現在、耐震化するのか、あるいは改築するのかわという検討を進めており、方向性を出すことになっている。平成28年度においては、その検討結果に沿って精微な数値等の資料を作成するための調査を行い、その資料を示して市民の意見を聞くことを予定している。

総務文教委員会では次の事項について特に配慮するよう、附帯意

見を付しました。

公立大学法人の定款などの議案の提出前に、市民説明会などを通じて、「市の財政負担」、「公立大学法人化の理由及び必要性」、「長野大学が地域で果たしている役割」、「長野大学の将来ビジョン」などについて関係する資料を提示して説明責任を果たし、市民の理解が得られるよう努めること。

## 総務文教委員会

●3月4日、7日、8日及び16日に開催し、条例案10件、予算案6件、事件決議案3件、請願1件の審査を行いました。

## 産業水道委員会

●3月8日、9日及び16日に開催し、予算案9件の審査を行いました。

## 平成28年度一般会計予算

**問** Uターンと地域若者等定住就職支援事業とはどのような内容か。

**答** この事業については、今年度実施している地域人づくり事業をさらに発展させ、就職相談窓口を設けるとともに、お試し就業を通じて上田市への移住促進を図り、さらに地域の若者の就業雇用につなげるマツ

チング強化が主な内容である。

**問** クラインガルテン事業を進めるに当たっての考え方はどうか。

**答** クラインガルテンの整備では、中山間地域の遊休荒地の解消や都市住民との交流による地域の活性化といった効果が期待されるが、先進地においては定住の実績もあることから、この事業を進めることにより、自然豊かな上田市で農業をしてみたい、ひいては住んでみたいと感じていただくことで移住・定住につなげていきたいと考えている。

## 平成28年度公共下水道事業会計予算

**問** 下水道の普及率と水洗化率はどううか。また、水洗化率向上の取り組みはどうか。

**答** 下水道の普及率は平成27年4月時点で99・6％と前年

同月から0.5ポイント上がったっており、水洗化率は平成27年4月時点で90・4％と前年同月から0.7ポイント上がったという状況である。また、サービス課の嘱託職員が未接続のお宅を個別に訪問催告することで水洗化率の向上に努めている。

## 平成27年度一般会計補正予算第5号

**問** 負担金が予算計上されている日本忍者協議会の内容はどのようなものか。

**答** クールジャパン戦略として海外等でも人気となっている忍者をテーマに、忍者にゆかりのある5県5市が連携し、市単独では展開が難しいような、マーケティング調査や忍者関連商品開発を初め、広域観光ルート開発等の忍者のマーケティングセールス推進事業を行うものである。

# の審査概要

## 平成28年度一般会計予算

## 問

子どもの学習支援事業委託料が計上されているが、この内容はどのようなものか。

## 答

学習支援事業は、生活困窮世帯の子どもを支援するために、支援に同意を得た生活保護受給世帯の中学生全員に対して、教員OBの方に家庭訪問をしていただき学習支援をするもので、今回中学生15名分の予算を計上している。

## 問

保育所給食レシビ集発行事業の概要と目的は何か。

## 答

合併10周年記念事業の一環として位置づけ、平均寿命が伸びてきている中で、健康で長生きできるように社会を築いていくことを目的に、薄味、野菜を多く使用したメニュー、そしゃく

力を高める料理等を掲載する。子どもはもちろん市民すべての生活習慣病の予防にも役立つ健康に留意したメニューを提供するべく企画したもので、全500部を製作し、うち300部については、一般に向けて販売を予定している。

## 問

若年者の健康診断事業について、本年度の申し込み状況と来年度の見込みはどうか。

## 答

今年度はモデル的に国保の加入者の35歳から39歳までの方を対象に行ったが、168人に申し込みをいただいた。来年度は保険の種類にかかわらず30歳以上の方を対象に健診を実施したいと考えており、国保加入者以外では、おおむね300人程度の受診を想定している。

## 問

子育て世代包括支援センター事業の概要はどうか。

## 厚生委員会

●3月4日、7日及び16日に開催し、条例案2件、予算案15件、事件決議案1件、請願1件の審査を行いました。

## 常任委員会

## 環境建設委員会

●3月8日及び9日に開催し、条例案11件、予算案8件、事件決議案2件、請願1件の審査を行いました。

## 自治基本条例中一部改正

## 問

検証委員会から「職員の責務」について提言を受けるなかで、現在の職員の意識をどのように捉えているのか。

## 答

職員が条例の趣旨を踏まえてまちづくりに積極的に参加するために、研修等を通じて理解を深められるよう継続的に取り組んでいきたい。

## 印鑑登録及び証明に関する条例中一部改正

## 問

個人番号カードを利用した印鑑登録証明書のコンビニエンスストアでの交付開始と自動交付機廃止の状況はどうか。

## 答

コンビニ交付の開始時期は未定であるが、コンビニ交付が始まって、すぐに市内3か所ある自動交付機を廃止するのではなく、平成29年3月末日まで並行して利用できるようにする。コンビニ交付は、コンビニ24社の市内57店舗で交付できるようになる。

## 平成28年度一般会計予算

## 問

神科豊殿・川西・丸子のモデル地区で住民自治組織が動き出す。地域住民との連携、情報共有の取り組みが大事になると思うが、今後の考え方と行政の役割をどう捉えているのか。

## 答

地域での情報共有、連携は、住民自治組織の活動を進めるうえで大切であり、むしろそのための組織と言っても過言ではないと考えている。こうした中で行政の役割は、地域担当職員が中心に地域住民が主体的に取り組む住民自治組織の運営や活動が円滑に進むよう支援や連携を図ることであると考える。

## 問

空き家実態現地調査をどのように取り組むのか。

## 答

昨年9月各自治会に調査を依頼し、市内の空き家総数が2536件、その内、倒壊等危険と思われる空き家が330件あるとの報告を受けた。今後、この調査をもとに、空き家対策特別法に定義された空き家の基準に沿った形で、保全状況や所有者等を把握するための現地調査を行う。



# 26人の議員が市政を問う

## 3月定例会一般質問要旨

3月定例会では一般質問を  
2月29日、3月1日、2日の  
日程で行いました。

掲載内容は、質問全体の一部を要約したものであり、質問議員本人が作成しています。質問全体の内容については、会議録でご覧いただくことができます。会議録は議会事務局、市内図書館及び公民館等で閲覧することができます。また、ホームページでもご覧いただけます。

なお、一般質問の様子は上田ケーブルビジョン及び丸子テレビ放送のご協力により生放送及び録画放送を行っていました。

### 代表質問

土屋 陽 一 議員（新生会）



### 施政方針と政治姿勢

**問** 政治哲学の実現は。

**答**（母袋市長）「生活者起点」「地域経営」「主役は市民」を基に、合併10周年、第二次総合計画初年度、「ひと笑顔あふれ輝く未来につながる健康都市」の船出の年で決意を新たにしている。

**問** 多くのベテラン職員退職。今後の人材育成は。

**答**（母袋市長）再任用制度の運用、女性の登用拡大、社会人経験枠の実施、管理監督職の育成の方向。

**問** 「観光おもてなし宣言」の職員活用はどうか。

**答**（母袋市長）市民の模範となるよう宣言を理解

し、おもてなし実践する。

### 財政の課題

**問** 当初予算編成方針は。

**答**（母袋市長）第二次総合計画の対応、地方創生総合戦略の対応、雇用の拡大、地域経済の活性化、交流定住の推進、地域医療の充実、健康福祉の増進、循環型社会形成への対応、行財政改革の更なる推進、持続可能な財源構造の確立を進める。

**問** 健全財政の堅持は。

**答**（小野塚財政部長）起債の平成28年度末現在高は約696億円、平成30年に償還のピークを迎える。

### 長野大学

#### 公立大学法人化

**問** 学部学科の改編など望みの持てる大学改革か。

**答**（母袋市長）学部学科

の改編、教育研究の質の向上、大学が覚悟をもって主体的に取り組むことが重要。市民・大学・行政も含め大きな枠の中では間違っていないと確信を持っている。

### 地域高規格道路

**問** 上信自動車道関連で群馬県嬬恋村の住民意識調査についての状況は。

**答**（清水都市建設部長）上田市関連の調査項目が多い。結果次第で当該道路の重要性が明確。整備区間指定に向け積極的に要望活動を展開していく。

### その他の質問項目

- ・ 地域医療と産婦人科病院
- ・ 全国植樹祭と里山整備

## 代表質問

小林 隆 利 議員（創始会）

上田市協働の  
まちづくり

まちづくり

**問** 住民主体のまちづくりを推進していくためには、地域の裁量に任せられる交付金制度が大きな鍵になると考える。これをどのように考えているか。

**答**（滝沢市民参加協働部長） 地域内分権の推進に必要な住民自治組織への交付金については、今回市内モデル3地区について初年度の活動に対し交付金を計上した。最終的な交付金の交付については、地域力の向上や魅力ある地域づくりにつながる制度として確立を目指していきたい。

## 農 政

**問** TPP対策を踏まえ、市として今後の農業・農村への支援をどのように考えているか。

**答**（保科農林部長） まずは担い手への農地中間管理機構を活用し農地の集積を図っていく。ハード事業では、農業用機械や施設の導入、農業基盤整備としての土地改良事業を推進するなど、農業・農村の体質強化と経営の効率化、生産性の向上につながる支援に努めていきたい。

資源循環型施設  
建設とごみ減量  
化目標値達成に  
向けて

**問** 資源循環型施設建設候補地の地元の皆様と誠意をもって粘り強く話し合いを持ちながら信頼関

係を構築することが解決への糸口であると思うが改めて市長の決意を聞きたい。

**答**（母袋市長） この課題解決のために、何よりも地元の皆様と行政との信頼関係の構築が最も重要であることには変わりはない。是非とも地域の皆様のご理解をいただき、計画を前に進めたいと考えている。

## その他の質問項目

・財政  
・学校給食

## 代表質問

古市 順 子 議員（日本共産党）



## 地域経済対策

**問** 消費税増税は中小業者の負担が増え経営を圧迫してきた。10%増税の影響をどう予想するか。

**答**（母袋市長） 個人消費の落ち込みや経済状況の激変で先行き不透明感はある。事業所訪問などで状況分析に努める。

**問** TPPの大筋合意は農業だけでなく各分野への影響が大きい。市長の見解はどうか。

**答**（母袋市長） 貿易の自由化は世界の潮流であり日本が積極的に関与すべきと考える。

**問** 「中小企業振興条例」の制定を検討すべきではないか。

ないか。

**答**（母袋市長） 新年度に基本方針等を明らかにする「上田市商工業振興プラン」を策定する。

**問** 経済効果が立証されている住宅リフォーム助成の制度化の検討をすべきではないか。

**答**（清水都市建設部長） 過去4年間の工事金額は事業費の11・5倍が見込まれる。制度化は財政状況等総合的に検討する。

## 学校の政治教育

**問** 憲法の基本原則を学ぶことは、主権者教育、人権教育であり大切と考えるがどうか。

**答**（小林教育長） 憲法については小6と中3の公民の授業で学習している。

**問** 授業で教師が、現実的な政治課題を取り上げることが生きた教育として有効ではないか。

**答**（小林教育長） 考え方が分かれる政治課題を取り上げることも意義があり、自由に意見交換できる環境づくりに努めている。

## 子どもの貧困対策

**問** 総合教育会議においても対策を系統的に協議すべきではないか。

**答**（小林教育長） 教育支援プラン策定のなかで、貧困世帯の児童生徒への学習支援を位置づける。

## 代表質問

半田 大介 議員（公明党）



補助の考えはどうか。

## シテイプロモーション

**問** 意義と目的は何か。基本方針を策定する考えはないか。

**答**（母袋市長）大河ドラマ放送終了後の中長期的な視点のプロモーション活動が重要であり、行政だけでは力不足で市民企業の力を発揮し全員参加で上田をアピールしたい。今後、観光誘客、移住・定住につなげるシテイプロモーション基本方針の策定に取り組む。

## 結婚・子育て支援策

**問** 新婚・若年世帯への民間アパートなどの家賃

**問** 民間手法の導入をさらに進めるために民間の専門家の採用の考えは。

**答**（神代健康こども未来部長）国の結婚新生活支援事業を申請し、結婚に踏み出すために世帯収入が低い新婚世帯の新規住宅取得や賃貸及び引越経費の一部を支援する。

**問** 妊娠から子育てまでの切れ目のない支援（通称「ネウボラ」）を行う子育て世代包括支援センター設置の目的は何か。

**答**（神代健康こども未来部長）出産直後の心身のケアの必要性や妊産婦の孤立感の解消という課題が明らかになった。母子保健コーディネーターが全ての妊婦の体の状況を把握し手厚い支援を必要とする妊婦には支援計画を作成し各地域の保健師等が支援を行う体制とする。

## 民間との協働、

## 市民参加

**答**（宮川総務部長）本年4月から多様な経験を持つ県外在住の民間経験者を採用する。

**問** ふるさと寄附金について市内外の住民・企業

が共感し参画できるクラウドファンディング、インターネットサイトを活用した寄附はどうか。

**答**（金子政策企画部長）市の特定のプロジェクトやイベントを実施するための有効な手段となる。実施に向けた研究を行いたい。

## その他の質問項目

- ・長野大学公立法人化
- ・公共施設マネジメント

## 代表質問

深井 武文 議員（上田新風会）



## 第2次

## 上田市総合計画

**問** 市長は第1次総合計画の評価をどのようにしているか。

**答**（母袋市長）合併特例債による財源を有効に活用し、地域の均衡ある発展に向けた基盤整備事業を数多く実施した一方、市民の一体感の醸成を図ることができた。一方施策の満足度調査でも9割近い施策で満足度が向上したという結果が得られた。第2次の取組10年間に向けて人口減少など変動する情勢の変化を的確に捉え残された課題と合せ熱意をもって取り組んでいく。

**問** 合併特例債の財源措置が終了していく厳しい財政状況の中で、第2次総合計画の山積する事業をどう進めていくのか。

**答**（金子政策企画部長）地方創生の国の交付金など多様な財源の確保を図りつつ、不断の行政改革を進める一方、スクラップ・アンド・ビルドにより集中と選択で事業展開を図っていく。

**問** 健全財政に向けた財政指標の目途、維持についてはどうか。

**答**（小野塚財政部長）公債費の平準化、経常収支比率上昇の抑制など健全財政維持に向け指標には十分留意し取り組んでいく。

## 教育行政

**問** 教育改革における総合教育会議が発足し間もなく一年となるが、改革、

改善などの状況はどうか。

**答**（小林教育長）市長が加わったことで政策課題について共有しながら率直な議論の場ができ、以前に増して活動が活発化し課題の解決、前進に向け総合教育会議に期待が膨らんでいる。

**問** 6年経過する上田市の教育支援プランの浸透度はどうか。

**答**（小林教育長）学力向上、不登校数の増加など課題はあるが支援プランの意図、目標は浸透が図られている。

## その他の質問項目

- ・高齢者介護支援



## 一般質問

松山 賢太郎 議員（新生会）

上田独自の  
婚活支援

**問** 今後の婚活支援に対する政策方針と意欲は。

**答**（金子政策企画部長）結婚への支援については、上田市結婚支援ネットワーク実行委員会と結婚機運の醸成を図り、結婚を希望する方の希望がかなうよう事業を進めたい。結婚支援は第二次上田市総合計画や「上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中でも施策として盛り込んでおり、人口減少、少子化対策の入り口となる大事な事業であると捉えている。

**問** 婚活の支援を行うボランティア団体、（仮称）婚活コーディネーターを組織できないか。

**答**（金子政策企画部長）出会いの相談や仲介などを行うコーディネーター業務は必要と考えているが、業務を行うのは公的結婚支援団体にその役割

を担っていただきたいと考えており、ボランティアではなく専任で責任ある立場で結婚相談を実施したいと考えている。

**問** 上田独自のウェディングプラン、お祝金の支給、市営住宅の優先入居、一定期間の住民税の減免、公共施設の優待利用、婚活移住補助等の各種成婚支援制度の新設はどうか。

**答**（金子政策企画部長）低価格の魅力的なウェディングプランの提案で市の施設を活用する要望があれば、施設管理者の許可を得て活用していただきたい。また経済的理由で結婚に踏み出せない若い世代の低所得者を対象とした経済的支援施策や、議員よりご提案いただいた様々なアイデアを検討しながら、より効果の高い結婚支援事業を検討したいと考えている。

## 一般質問

久保田 由夫 議員（日本共産党）

平成28年度 当初  
予算と今後の財政

**問** ふるさと納税制度の活用を図るべきだ。

**答**（母袋市長）厳しい財政状況の地方自治体には福音的で魅力的な財源の一つとなっている。市では、ふるさと納税専用のポータルサイトの活用によって利便性向上を図る一方、返礼品は適宜見直しを図っていききたい。

空き地・  
空き家対策

**問** 危険な空き家の実態調査の結果は。

**答**（清水都市建設部長）2月末現在で21の自治会の集計では空き家等の全件数は2206件で、そのうち上田地域1469件、丸子地域47件、真田地域194件、武石地域66件。適正な管理がされていない特定空き家等は、全体の件数330件。上田地域225件、丸子地域42件、

真田地域32件、武石地域は31件である。

**問** 今後の取り組みと条例制定の考えは。

**答**（清水都市建設部長）今後は、データベースの整備や第3者機関の協議会の設置、空き家等対策計画の策定を進める。また、空き家等の適正管理に関する条例を制定していく。先進地の例では、行政代執行は手続きに時間がかかるため、近隣住民らの生命や財産に危険が迫っていると市が判断した場合、崩れ落ちそうな壁や瓦を撤去するといった必要最小限の緊急的な応急措置をとれるよう条例に定めている例もあるので、多面的に検討したい。

## その他の質問項目

- ・ 地籍調査
- ・ 特殊詐欺被害防止対策

傍聴者の  
声本会議を傍聴されたみなさんの声  
～こんなご感想・ご意見をいただきました～

3月定例会において、本会議を傍聴された方はのべ106人でした。傍聴された皆さんには、ご感想やご意見をアンケート用紙に記入していただいています。お寄せいただいたご感想、ご意見の一部を紹介します。

○議場に日の丸が掲げられたのは初めてで驚きましたが、どういう経過でしょうか。（70代）

○議員の意見は市民の意見でもあります。市での誠実な対応を願うものです。形式的な議会では意味がありません。（60代 男性）

～議場への国旗の掲揚について～

上田市議会では、12月定例会で提出された陳情第13号「議場に国旗の掲揚を求める陳情」を議会運営委員会で審査し、賛成多数で採択しました。これを受け、翌1月に本会議場に国旗と市旗を掲揚しました。

**一般質問**  
安藤 友博 議員（新生会）



**資源循環型施設  
建設事業について**

**問** 上田地域広域連合では第3次ごみ処理広域化計画を策定した。平成32年度までのごみ減量化及び資源化を示し、それに伴う施設処理能力も併せての計画である。2月17日に地元施設建設対策連絡会との意見交換会が、関係者のご尽力により再開されたが、第3次ごみ処理広域化計画について地元の皆さんの反応はどうか。資源循環型施設建設庁内プロジェクトリーダーの副市長の考えは。

**答**（井上副市長） 意見交換会では、冒頭で対策連絡会から「循環型社会の構築やごみの減量化により、資源循環型施設の負担が軽減され、より一層安全安心な施設建設が可能になる」とのご意見をいただき、上田地域広域連合ごみ処理広域化計画の内容や当市の可燃ごみの減量化に関する取組などを中心に、熱心に意見の交換が行われた。意見交換会でのご意見は、広域圏域の約85%のごみを排出している上田市として責任ある対応が必要であること。ごみ減量化や「負担の公平」の観点から、全市民・全世帯で取り組む体制づくりが不可欠であること。上田市として「生ごみの減量化・堆肥化施策」に前向きに取り組んでほしいこと。廃プラスチック類の分別や、事業系可燃ごみの減量化の徹底をはかること。などについて市の取組が不十分であるとの厳しいご意見をいただき、さらなる減量化・再資源化への取組の推進が求められているものと認識している。

**その他の質問項目**

- ・お客様をお迎える環境整備
- ・地域内分権

**一般質問**  
金沢 広美 議員（公明党）



**ラグビーワールド  
カップキャンプ地  
と菅平高原**

**問** ラグビーワールドカップ2019チームキャンプ地選定のために菅平を訪れる外国視察団に対するアピール内容は何か。

**答**（金子政策企画部長） 菅平高原の冷涼な気候やアクセスが良いこと、また、85年にわたるラグビー合宿の聖地であり、全日本及び国外チームを受け入れた実績があること、さらには、計画している菅平地区振興施設では体育館とジムを整備する予定であり、スポーツ合宿地として高いポテンシャルを有することをアピールしていく。

**問** 市のインバウンドの取り組みは。

**答**（関商工観光部長） 外国人旅行者等が利用できるWi-Fi通信設備の設置補助、国内外での観光

キャンペーンの参加、忍者をキーワードにした旅行商品の開発等を予定している。

**障がい児への支援**

**問** 市内四か所にある障がい児のための療育保育施設は定員がいっぱいと聞く。受け入れを拡充するために市の支援のあり方はどうか。

**答**（神代健康こども未来部長） 療育保育施設、上小地域の市町村の福祉・保育部門及び保健師が情報共有を図りながら課題を解決できるよう検討する。

**問** 幼児から大人までの障がいに関する総合的な外部のコンサルタントを入れる考えは。

**答**（神代健康こども未来部長） 発達障がいのお子さんとその家族が安心して地域で生活できるように、今後コンサルタントについても研究したい。

**一般質問**  
小坂井 二郎 議員（上田新風会）



**プレミアム商品券・  
住宅リフォーム  
補助券**

**問** 商品券の換金額と利用状況は。

**答**（関商工観光部長） 発行額7億2000万円に対して換金額は7億1839万2000円、99.8%だった。地域別では上田地域が5億7553万円・丸子武石が1億3296万円・真田が989万円だった。業種別のトップは食品関連で2億8877万円・大型店1億3436万円・コンビニ等5804万・建設等4608万円・自動車関連が3881万円で効果等の詳しい状況は集計中である。

**問** 補助券の換金額と利用状況は。

**答**（清水都市建設部長） 発行額は1億円だったが10月には予算額に達したため、受付を終了した。1131件の申請があり交付金は9984万円だった。工事金総額は10億

3000万円余で10倍の経済効果だった。

**ドローン規制**

**問** 市の今までの対応は。

**答**（宮川総務部長） 昨年7月から、国に先駆けて規制対応をした。1月には人口密集地を指定して、国交大臣の許認可を得るようにした。

**観光トイレの整備**

**問** 中央商店街から上田城跡公園までのトイレ整備の状況は。

**答**（関商工観光部長） 10か所あるが、パンフレット等でも紹介する。

**コウノトリの繁殖**

**問** 豊岡市からコウノトリを借りての繁殖はどうか。

**答**（保科農林部長） コウノトリは2月末に徳島県鳴門市で確認された。繁殖は難しいと考える。

**その他の質問項目**

- ・カラス害

## 一般質問

金子 和夫 議員（新生会）



## 北陸新幹線開業から今後の対応

**問** 「真田丸」で賑わう観光客の入り込みをどの様に予測しているのか。

**答**（関商工観光部長） 長野県のパラメータ調査によると昨年度は上田城跡公園を訪れた交通手段は自家用車55%、観光バス19%、新幹線9%、在来線2%である。

**問** 東京・金沢間を結ぶ「かがやき」「はくたか」の上田駅停車が少ないと思うが影響はどうか。

**答**（関商工観光部長）「かがやき」は速達型で上田駅は停車しないが上下線合わせて「はくたか」18本、「あさま」32本と金沢延伸前と同数の50本が確保できている。

**問** 今後の観光振興を考えた他団体と連携して新幹線の停車本数増への動きは。

**答**（関商工観光部長） 上田駅基点の9自治体で広

域的連携を強め上田駅の乗降客を増やし停車数増加につながるようにする。

## 市民の健康増進

**問** 上田市健康チャレンジポイント制度が始まってからの普及状況と今後の見通しは。

**答**（神代健康こども未来部長） 昨年6月からスタートし2月末で2987人、8月以降は月平均100人程度の参加で今後も増えていく。

**問** 日の本一の健康都市実現に向けた今後の展開は。

**答**（神代健康こども未来部長） 新たに「く朝から健康くあたま・からだ元気体操」をラジオ体操などと組合せ各地域で実施し、多くの方の参加を呼びかけ健康寿命延伸に結び付ける。

## 一般質問

宮下 省二 議員（創始会）



## 資源循環型施設建設

**問** 諏訪部地区に一般的に迷惑施設は最大何かあったのか。

**答**（堀内生活環境部長） 過去に最大5件の迷惑施設をお願いしたが、と畜場、家庭雑排水処理場は現在廃止されている。

**問** 交渉を進めるにあたり配慮を欠くと自治会内の分裂を招く恐れがあるがどうか。

**答**（堀内生活環境部長） 新たな施設をお願いする立場であるので、地域に混乱を生じさせないよう十分に配慮するとともに、賛成や反対といった意見の表明によつて地域の中で孤立しないよう取り組みたい。

**問** 市長のごみ減量化の思いは伝わってくるが、地元に対して行動に表れていないとの指摘があるがどうか。

**答**（母袋市長） 今後も対

話のプロセスを重ねながら、意見、要望をお聞きする中で、広く議論を行い信頼関係を構築していきたい。

**問** 地元は、なぜ今回も諏訪部なのか。負担の公平性を考慮してほしいとの要望に対して、行政とは議論がかみ合っていないと思うがどうか。市は問題点を分析、整理を行い、地元からの「なぜ」にこたえる必要があると考えるがどうか。

**答**（母袋市長） 最重要課題として受け止め、全力を傾けている。市では地域の様々な意見も伺いながら、問題点等を整理、分析して分かりやすく説明するために意見交換会、また説明の機会をお願いしていきたい。今後、行政としてできる限りの配慮は行い、話し合いを重ねていきたい。

傍聴者の声  
（続き）本会議を傍聴されたみなさんの声  
～こんなご感想・ご意見をいただきました～

○市政についていろいろなことが聞けて勉強になりました。若い人も移住、定住したいと思えるような魅力ある市になってほしいと思いました。（20代 女性）

○初めての傍聴とてもよかったです。一市民としては、市の議会にとっても関心がありました。これからも上田市が一番良くなることを願います。ありがとうございました。次を楽しみにしております。（80代 女性）

○議員さんのそれぞれの質問に対し、市長さんも分かりやすく返答をしてくださりありがとうございました。（70代 女性）



一般質問

井沢 信章 議員（新生会）



介護保険制度  
の改正

**問** 介護保険制度が改正され、小規模通所介護施設については、その許可と指導監督が市に移管されることとなったが、これを受けて市は独自の対応策を考えているのか。

**答**（櫻田福祉部長） 定員18名以下の小規模通所介護事業所については、地域との連携や透明性の確保、市町村が地域包括ケアシステムの構築を図る観点から、日常生活圏域との整合性あるサービス基盤の整備を行う必要があるため、指導監督が市町村に移行される。市町村が独自に報酬を定めることができるサービスとして、定期巡回、随時対応型訪問介護、夜間対応型訪問介護、小規模の多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護があるが、独自に定める場合、利用者の負担増に絡

一般質問

成瀬 拓 議員（日本共産党）



消防団

**問** 一般団員の年報酬額は国の基準の半分もない。報酬を上げるべきではないか。

**答**（中島消防部長） 平成8年度の改正以来、この額で市町村合併のときにも旧上田市の金額に統一し、変更していない。国が基準財政需要額を算定する上で算定基礎として設定した消防団の標準団体を人口10万人、分団数15個分団、団員数570人とし、報酬等の必要経費が示されている。上田市の消防団は29個分団、団員数は2200人余りであり、規模が大きいもの。限られた財源の中で交付税単価を満たす報酬としていくことは難しい。

雇用

**問** ブラック企業の対応への考え方は。

**答**（関商工観光部長） ブラック企業が見極める方法として、離職率や常態化した過重労働とされているが、企業内部のことで調査権限を持たない市としては、実態調査は困難と考える。市の取り組みとして、社会保険労務士の資格を持つ専門相談員が労働雇用相談を行っており、きめ細やかな相談に応じている。

一般質問

林 和明 議員（新生会）



防犯について

**問** 商店街、自治会が防犯目的に防犯カメラを設置する際の支援はどうか。

**答**（堀内生活環境部長） これまでも一部の自治会とは、防犯カメラ設置について意見交換をしたことはあるが、住民の犯罪に対する懸念の程度やカメラの予防効果、プライバシー保護や維持管理の問題など、詰めるべき課題は少なくないという認識も持ったところである。今後、商店街や自治会から防犯カメラの設置について具体的な相談があれば、支援などについて対応していきたいと考えている。

自転車の  
安全について

**問** 昨年の道路交通法改正について市民への周知はどうか。

**答**（堀内生活環境部長） 高学年児童や中学生に対しては、警察や交通安全教育団体等と連携しながら

その他の質問項目

・千本桜まつり、真田まつりの対応

## 一般質問

西沢 逸郎 議員（新生会）

## 自治会支援の充実

**問** 各種事業に対する自治会の負担割合を早期に見直し支援をすべき。

**答**（滝沢市民参加協働部長）自治会を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化などの共通の課題に加え、自治会加入率の低下や役員の担い手不足等、特に世帯数の少ない自治会では抱えている課題が多く、活動が大変であると認識している。様々な状況に応じた見直し、また世帯数の少ない小規模自治会への配慮等、常に検討していく必要があると考えている。自治会活動における負担軽減は重要な視点と捉え、今後も自治会が抱える課題に耳を傾けながら取り組む。



## 小学校の安心安全

**問** 古い窓サッシの改善策、費用はどうか。

**答**（西入教育次長）一教室南面施工に約60万円かかる。順次計画的に行っていくきたい。

## カラスの環境問題

**問** カラスの対策は。

**答**（保科農林部長）専門家の意見を聞き、先進事例を研究する中で、事業者の協力も頂き、可能な限りの物理的対策を図り、また人的な対策もあわせて図っていききたい。

## 一般質問

佐藤 清正 議員（創始会）

## 地域経済と産業振興

**問** 企業誘致を定住自立圏で取り組む狙いはなにか。

**答**（関商工観光部長）企業活動が行政区域内にとどまらず、広域化、グローバル化している中で広域圏での企業集積力や人口規模、労働力など圏域の総合力により企業誘致に結びつける。

**問** ポスト真田丸、市民が一丸となって取り組む産業基盤の構築に向けた次の目標はなにか。

**答**（母袋市長）市の経済や雇用を牽引している製造業の技術の集積やAR・ECを拠点とする産学官連携の強みを生かし次世代に向けた工業の活性化を図るなかで、東信州圏域の市町村に声掛けをし、仮称東信州次世代イノベーションセンターの設立を図り、製造品出荷額においても全国でも上位になるエリアを目指す。また、地域経済の足腰が強くなつて雇用機会が拡大するためには様々な産業の集積が必要で、上田市の気候や地理的優位性をアピールするような企業誘致を図りたい。



## 人材育成と組織の適正化

**問** 人事制度の見直しの方向性はどうか。

**答**（宮川総務部長）新たな人事上の課題対応を視野に能力・実績を加味しながら再任用職員の活用や社会人経験者採用の実施など多様な職員を確保し有効な活用を図る。

**問** 組織の適正化により職員数はどう変化したか。

**答**（宮川総務部長）合併後、上田地域934人を927人に、丸子地域191人を138人に、真田地域119人を77人に、武石地域66人を44人に、合計で1310人を1186人に縮減した。

傍聴者の声  
（続き）本会議を傍聴されたみなさんの声  
～こんなご感想・ご意見をいただきました～

- 市長の発言ははっきりと聞こえよくわかった。よくわからない発言は話すスピードの違いでしょうか。（70代 女性）
- 女性議員が少なすぎますね。市民が女性を送り出す努力が必要だと思います。（70代 男性）
- 日頃、市政等の行政の在り方を十分にわからず過ごして生活しておりましたが、一般質問を傍聴する機会があり伺いました。質問されること、答弁されることよく理解できました。機会があれば、誘い合わせ再び伺いたいと思っております。（60代 女性）
- 初めての傍聴であったが、身近なテーマでの質疑、答弁がされており、親近感を感じたが更なる具体的施策を期待したい。（70代 男性）

一般質問

渡辺 正博 議員（日本共産党）



次世代をになう  
子どもたちを  
はぐくむ学校給食

**問** 上田市教育委員会が決定した「今後の学校給食運営方針」配送業務を含めた「直営」の継続判断自体は歓迎するものであるが、その理由はなにか。

**答**（西入教育次長） 上

市の給食センターは、自校給食に近い給食を目指し、調理現場の栄養士と調理員が中心となり、長年かけて蓄積したノウハウを生かした給食づくりを今後も「直営」により継続したいと考えた。

**問** 統合給食センターでも、これまでの自校に近い手作りによる調理は維持、向上されることが前提と考えてよいのか。

**答**（西入教育次長） 新しい給食センターにおいてもできるだけ続けていきたい。

**問** この方針により、具

体的に東塩田小学校、川辺小学校の給食や子どもたちの何がよくなるのか。

**答**（西入教育次長） 特に

老朽化の著しい第二学校給食センター、川辺小学校、東塩田小学校の給食施設が新しくなり、衛生面や作業環境が向上し、より安全で安心な給食づくりができるものと考えている。

**問** 平成23年答申を無視しての方針転換は、一部地域にとどまらず全市の議論が必要な案件である。市民への説明責任についてどうか。

**答**（西入教育次長） 今回の方針は、答申の趣旨を踏まえたもので、ほとんどの学校では大きな変更はなく、自校方式からセンター方式に移行となる川辺・東塩田小学校を中心に説明をする。

一般質問

池田 総一郎 議員（創始会）



発達障がいのある  
子どもの  
サポート体制

**問** 市内小中学校の発達障がいのある児童生徒数の直近5年間の推移の状況はどうか。

**答**（小林教育長） 平成22年度386人に対し本年度は672人で、286人の増加。割合ではこの5年間で1.86倍に増加している。

**問** 特別支援学級に優先的に導入されるようになったタブレット端末の活用状況と今後の導入拡大の見通しはどうか。

**答**（小林教育長） タブレットの実証実験では、授業に対する集中力が増したことなど、活用効果が報告されている。今後は来年度から3か年の予定で他の全ての小中学校の特別支援学級に学級当たり2台程度を導入する。

**問** 専門的知識を要する発達相談センターの相談員や専門医の数が不足し

ているという指摘があるが、増員について市の考えはどうか。

**答**（神代健康こども未来部長） 新たに来年度は臨床心理士等の専門職を増員して相談体制の充実を図る。また、発達を専門とする医師を含めて地域の医療機関に勤務していただける医師が増えるように引き続き取り組む。

中信との観光広域連携

**問** 2月と3月限定で運行中の上田・松本間の直通バスだが、4月以降の運行の考えはあるか。また、現行ではFDA札幌便との接続がない。この点についてどう考えるか。

**答**（関商工観光部長） 4月以降は上田駅を始発として運行を継続する。また、札幌便の利用者の利便性も確保していく考えである。

一般質問

松尾 卓 議員（公明党）



ひとり親家庭への支援

**問** 経済的な支援、就労支援、子育てと生活支援など親や子どもの状況を踏まえ、一人一人の個別の状況に配慮した支援が必要。今後の課題は何か。

**答**（神代健康こども未来部長） ひとり親家庭の相談窓口を一元化し、寄り添い型支援を行う体制整備に向け、先駆的な事例を検証し、今後検討する。

**問** 28年度、県の総合戦略ではひとり親家庭の移住を掲げている。ひとり親家庭への支援をきっかけに病児病後児保育や延長保育など子育て支援全般のさらなる充実を図るチャンス。今後の市の取り組みはどうか。

**答**（神代健康こども未来部長） 国、県の新たな施策も活用する等、子育て環境全体のレベルアップを図るため、子育て支援策に積極的に取り組む。

公共交通

**問** 武石地域デマンド交通の役割は何か。

**答**（渋沢武石地域自治センター長） マイカーを持たない高齢者や障がいがある方などにとっては必要不可欠であり、子育て支援、社会保障という観点からも住民の生活を支える重要な役割を果たしている。

**問** 財政負担により公共交通を維持していく意義はどうか。

**答**（母袋市長） 近年の公共交通のあり方は経済性、効率性だけで判断できない質的变化がある。予算にも限りがあり、公共交通の維持、確保は大変重要な課題。今後持続可能な公共交通網の形成は引き続き地域、事業者、行政三者相互の連携により、誰もが利用しやすい公共交通の充実を目指していく。



## 一般質問

松井 幸夫 議員（創始会）

## 地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊員の地域活性化におけるそれぞれの活動状況は。

答（宮川総務部長） 豊殿地域の隊員は、稲倉棚田の保全や地元の振興団体が主催する鷲場まつりの企画等中心的役割を果たしている。真田地域の隊員は、真田地域おこし新聞を5回発行したり、地域の団体の皆さんとの交流を通じて地域の活性化に努めている。武石地域の隊員は、様々なイベントの企画、実行に積極的に参加し、東日本大震災に対する支援、福島母子リフレッシュin上田の企画や受け入れに力を注いでいる。

## ながの子育て家庭優待パスポート

問 協賛店舗数と提供されるサービスの内容は。

答（神代健康こども未来部長） 県内では3834



## 一般質問

土屋 勝浩 議員（新生会）

## 中心市街地の活性化

問 新しい「中心市街地活性化基本計画」では、活性化の指標である歩行者通行量をどの様に増やしていくつもりなのか。

答（関商工観光部長） サントミューゼの利用者を市街地循環バス等により中心市街地へ誘導していく。また、ハナラボウン

ノと連携したまちなか交流促進を進めていく。

問 アリオの高い集客力を中心商店街に波及させ、更なる回遊性の向上を図ることはできないか。

答（関商工観光部長） 中心商店街に大型商業施設と共通で使える電子マネーの端末機を設置し、合わせて共同イベントの実施等を支援していく。

## その他の質問項目

・地域型保育事業



## 一般質問

土屋 勝浩 議員（新生会）

## 中心市街地の活性化

答（関商工観光部長） 空き店舗の減少を図るためにも、緊急かつ限定的な対応として、平成28年度は改装費に対する補助に加え店舗の賃借料に対する補助も行っていく。また、創業相談から補助金の交付までの手続をワンストップで行えるよう商工会議所と調整、検討を進めていく。

## 若者の投票率向上策

問 若者が投票に行きやすいように、駅やショッピングセンター等への期日前投票所設置を検討できないか。

答（中村選挙管理委員会委員長） 新たに期日前投票所を創設することは投票率向上策として大変有効な手段であると認識している。職員体制や情報セキュリティ体制等を考慮し、設置場所を検討していく。

## 上田市議会のホームページをご覧ください！

「議会を傍聴したいので詳しい日程が知りたい」、「議会の時以外は、議員は何をしているの?」というお問い合わせをいただくことがあります。

市議会のホームページには、議会日程やそれ以外の予定（議会カレンダー）を掲載しています。また、議員個人の活動については、自身のホームページに掲載している議員もいます。そちらも議員名簿のリンクからご覧いただくことができます。

そのほかにも会議録などをご覧いただくことができます。情報満載の上田市議会のホームページをぜひご覧ください。

アクセスはこちらから → [www.city.ueda.nagano.jp/](http://www.city.ueda.nagano.jp/) 上田市議会

検索

～議会ホームページでは次の情報を見ることができます～

## 市議会情報

○定例会・臨時会の日程 ○意見書・決議 ○議会報告会  
○市議会カレンダー

## 市議会のしくみ

○市議会のあらまし ○議会傍聴のご案内 ○請願・陳情について

## 市議会議員

○議員名簿・各種委員会名簿 ○議長交際費 ○政務活動費 ○会派視察報告

## うえだ市議会だより

## 会議録検索システム

一般質問

三井 和哉 議員（上田新風会）



公職選挙法改正と  
選挙投票率の向上

**問** 公職選挙法改正案が国会に提出されており、「共通投票所」をショッピングセンターや駅などに設置できるとされているが、投票率向上の観点から設置する考えはあるか。

含めると15時間も詰めていなければならず、自治会から選出される立会人等の負担感は大きく、人選に苦慮する自治会もあると聞く。選挙管理委員会はこれを把握しているか。投票時間の切り上げはどうか。

**答**（中村選挙管理委員会委員長） 共通投票所は市内の誰でも投票できるというメリットがあるが、二重投票防止のため、すべての投票所をオンラインで結び、瞬時に投票者情報を共有するシステムを構築しなければならず、現在の当日投票所88カ所のオンライン化が必要となる。共通投票所の設置は現時点では解決すべき多くの課題があり、当面の選挙への設置は考えていない。

**問** 現在の投票所は朝7時から夜8時まで開いているが、準備と片づけを

一般質問

原 栄一 議員（創始会）



真田丸観光  
受け入れ態勢

**問** 真田丸の放送以来順調に視聴率が推移しているが、今後の入客や受け入れ態勢はどのようなか。

**答**（関商工観光部長） 大河ドラマ館の入場者数は目標の50万人に向け順調なスタートを切っている。原町のガーデンプレイス、公園内の真田茶屋が完成予定で、おもてなしの心も万全である。

**問** 真田氏ゆかりの地を巡る周遊観光バスの運行と受け入れ態勢は。

**答**（高橋真田地域自治センター長） 真田の郷周遊観光バスは、真田氏ゆかりの名所・旧跡が、高低差のある中山間地域内に点在しており、気軽に楽しめながら訪れていたけるよう運行している。ゆきむら夢工房を拠点として、午前9時より30分間隔で1日15便運行。どのゆかりの地も昨年より

一般質問

佐藤 論征 議員（新生会）



多面的機能  
支払制度推進

**問** 対象農用面積に対する比率（カパー率）が上田市は低く、推進が重要と考えるが、推進についての見解はどうか。また、JAとの連携強化と制度の周知が重要と考えるが見解はどうか。

**答**（保科農林部長） カパー率は市全体で27・6％と県・上小地域を下回る状況で、上田地域48％、丸子地域13％、真田地域7％、武石地域6％。真田・武石地域を重点に推進していく。カパー率の低い畑、樹園地については対象事業である獣害防止柵も推進する。JAとの連携、周知は重要であり今後更に推進していく。

菅平地区振興  
施設整備

**問** 開設時期を2019年4月としており、ラグ

ビーワールドカップ日本大会開催の5ヶ月前としているが、開設時期は適切か。また、菅平地区は冬季の工事が制約を受けるが対策は講じられているか。

**答**（高橋真田地域自治センター長） 公認・事前キャンプの過去の実績から開設時期は適切。工事については綿密な工事管理を行い、事業を推進。

**問** アスリート利用と市民の利用をどう住み分けるのか。

**答**（高橋真田地域自治センター長） 7～9月はアスリート合宿優先。その期間以外は市民利用などに活用。

**問** パラリンピックキャンプ施設として、障がいのある方に優しい施設とするべきであると考えが見解はどうか。

**答**（高橋真田地域自治センター長） 提案の通り障がいのある方が利用しやすい施設を目指す。

その他の質問項目

・上田地域高等職業訓練センター支援と臨時観光駐車場の確保

その他の質問項目

・神川地域の拠点整備事業

## 一般質問

山田 英喜 議員（創始会）



## 第五中学校改築

**問** 築55年が経過し校舎にひび割れも目立つ。校舎改築の重要性はどう考えるか。

**答**（西入教育次長）第五中学校は主な校舎が建設後50年以上が経過し、市内中学校で最も老朽化が進んでいる。耐震補強により耐用年数は延びないため計画的に改修や改築が必要。今後市全体の整備計画を検討する中、順位や時期、方法等を考える。

## 道徳教育

**問** 道徳の教科化が今後小中学校において全面实施されるが教育長の見解は。

**答**（小林教育長）大人の社会でも規範意識や倫理観の低下が言われる中、子どもの心の成長における現状を見ても、いじめによる深刻な問題や自尊感情の低下などが指摘さ

れている。人生において出会う様々な事象に対し、適切に行動するため資質、能力を培うことの重要性は大きい。充実がより一層図られることは大きな意義があると認識する。

## 信州型コミュニティスクール

**問** 地域の方々にボランティアで取り組んでいたとしても備品購入などの費用はかかる。予算確保の考えは。また生涯学習課と学校教育課の連携はどうか。

**答**（西入教育次長）備品購入など活動に対する消耗品費を当初予算に計上。また、同施策の推進は主要施策の一つのため、各課が目標を共有しながら事業を進めている。

## その他の質問項目

・地域経済の強化

## 3月定例会 請願の審査結果

## 請願

| 件 名                               | 提 出 者                                  | 審査結果 |
|-----------------------------------|----------------------------------------|------|
| 上田市墓地等の経営の許可等に関する条例改正を求める請願（継続審査） | 上田仏教会 会長 小根澤浩一氏<br>（紹介議員 尾島勝議員、土屋陽一議員） | 趣旨採択 |
| 憲法9条改定に反対する請願                     | 上小地域「9条の会」連絡会<br>代表 島田佳幸氏（紹介議員 渡辺正博議員） | 不採択  |
| 児童虐待防止対策の抜本強化を求める請願               | C A P里山 代表 宮尾秀子氏<br>（紹介議員 金沢広美議員）      | 採択   |

## 皆さんの要望を市議会に請願・陳情できます。

市議会では、皆さんの要望などを請願や陳情という形で受け付けています。

提出された請願・陳情は内容を審査し、採択か不採択を決定します。

## ■請願について

請願は所管する常任委員会に付託して審査をしています。その結果をもとに、本会議で結論（議決）を出します。請願は、請願を紹介する議員が必要です。

## ■陳情について

陳情は、紹介議員は必要ありません。一部を除き、受理された場合は所管する常任委員会に付託して審査を行いますが、本会議での議決は行わず、委員会の審査結果を本会議で報告します。

## ■請願・陳情の記載要件

日本語を用いること・次のことが記載されていること（趣旨、提出年月日、住所及び氏名※法人の場合はその名称及び代表者の氏名、請願・陳情者の押印、紹介議員の署名または記名・押印※請願の場合）

## ■請願・陳情の趣旨説明

請願・陳情の趣旨を明確にするために、提出者の希望によりその趣旨を説明する機会を設けています。詳細は議会事務局にお問い合わせください。

次回の6月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限は6月7日（火）の午後3時です。



## 平成27年度 会派行政視察研修報告

上田市議会には、現在5つの会派があります。会派では、政務活動費を活用し、県内外の先進自治体や活動団体を視察・調査研究し、それぞれの議会活動に役立てています。昨年度各会派が実施した行政視察・研修をご紹介します。

### 新生会

- 1 山口県萩市（平成27年5月19日）  
「大河ドラマ放送時の観光客の受入状況」

- 2 島根県雲南市（平成27年5月20日）

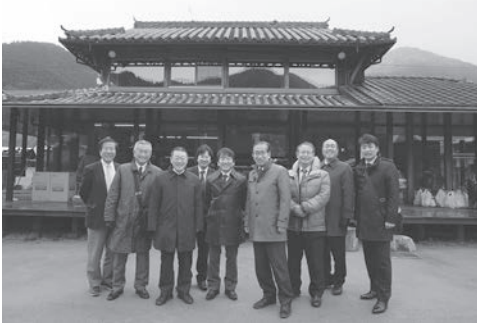
「身体教育医学研究所うんなん・地域自主組織等の地域力を生かした健康づくり」

- 3 島根県出雲市（平成27年5月21日）

「消防団への支援」

- 4 愛媛県松山市（平成27年12月15日）

「愛媛大学・社会連携による地域貢献活動」



神山町のサテライトオフィス

- 5 高知県香美市（平成27年12月16日）  
「高知工科大学・公立大学法人化」
- 6 徳島県神山町（平成27年12月17日）  
「NPO法人グリーンバレー・IT企業がひきつけれられるまちづくり」
- 7 その他研修  
「第77回全国都市問題会議」

### 創始会

- 1 千葉県千葉市（平成27年5月13日）  
「蘇我スポーツ公園整備の概要」
- 2 北海道旭川市（平成27年5月14日）  
「オオカミを用いた有害鳥獣駆除」
- 3 北海道名寄市（平成27年5月15日）  
「名寄市立大学・財政面から見た大学運営」
- 4 富山県富山市（平成27年10月13日）  
「スポーツ施設の整備」
- 5 福岡県小郡市（平成27年10月14日）  
「小郡市コンプライアンス条例」・「指定管理から直営に戻した市立図書館の運営」
- 6 山口県防府市（平成27年10月15日）  
「バイオガス発電システムを備えたクリーンセンター」・「ごみ減量化の取り組み」

- 7 愛知県長久手市（平成28年1月27日）  
「愛知県立大学・財政運営と大学改革」

- 8 長野県安曇野市（平成28年1月28日）  
「市庁舎建て替え」・「公共施設マネジメント白書」・「地域交通と広域連携」

- 9 その他研修  
「自治体トップマネジメントセミナー」  
「第77回全国都市問題会議」

### 日本共産党

- 1 沖縄県名護市（平成27年10月27日）  
「沖縄県北部広域市町村圏事務組合」  
「名城大学・公立大学法人化」
- 2 沖縄県糸満市（平成27年10月28日）  
「平和行政」
- 3 第39回自治体政策セミナー in 埼玉（平成27年5月31日）
- 4 自治体学校 in 金沢（平成27年7月25、26日）
- 5 第77回全国都市問題会議（平成27年10月9日）



長野大学公立大学法人化に関する大学改革に向けた視察

- 6 財政分析基礎講座「よくわかる市町村財政分析」  
(平成28年1月26、27日)

- 7 第35回市町村議員研修会 in 静岡  
(平成28年2月1、2日)



長野大学公立大学法人化の課題に関する参考事例・名城大学

## 公明党

- 1 (株)三越伊勢丹ソレイユ (平成27年6月11日)  
「障がい者雇用の取り組み」

- 2 東京海上ビジネスサポート(株) (平成27年6月11日)  
「障がい者雇用の取り組み」

- 3 岩手県花巻市 (平成27年8月4日)  
「橋守事業」

- 4 岩手県大槌町 (平成27年8月5日)  
「大槌町社会福祉協議会・震災復興・ボランティアアセンタールの状況・おらが大槌広場の取り組み」

- 5 岩手県紫波町 (平成27年8月6日)  
「オガールプロジェクト・新しい公民連携」

- 6 宮崎県日南市 (平成28年1月19～20日)  
「日南市漁協女性部加工グループの取り組み」  
「マーケティング専門官による外貨獲得と雇用拡大の取り組み」・「テナントミックス事業等」

- 7 宮崎県都城市 (平成28年1月20日)  
「霧島酒造(株)・さつまいもバイオマス発電」

- 8 鹿児島県始良市 (平成28年1月21日)  
「地域情報共有プラットフォーム構築事業」

- 9 鹿児島県鹿児島市 (平成28年1月21～22日)  
「(株)ラグーナ出版・就労継続支援A型事業所としての出版事業」

- 「観光都市・観光未来戦略」

- 10 その他研修  
「第77回全国都市問題会議」



震災時、上田市からのボランティアを受け入れた大槌町社会福祉協議会

## 上田新風会

- 1 宮城県多賀城市 (平成27年7月14日)  
「大規模災害時における議会の対応マニュアル」

- 2 宮城県岩沼市 (平成27年7月15日)  
「災害復旧の迅速化とまちづくり」

- 3 宮城県角田市 (平成27年7月16日)  
「議員間討議の方法と予算決算委員会を中心とした議会改革」

- 4 新潟県佐渡市 (平成27年11月9日)  
「市町村合併10年後の財政とまちづくりの影響」

- 5 新潟県小千谷市 (平成27年11月10日)  
「人口減少時代に向けた移住・定住策」

- 6 新潟県長岡市 (平成27年11月11日)  
「生ごみバイオガス化事業、生ごみバイオガス発電センター」

- 7 埼玉県行田市 (平成28年1月21日)  
「定住促進奨励金・企業誘致奨励金」

- 8 その他研修  
「議員力・議会力向上セミナー in 東京」  
「人口減少時代における地域再生 in 東京」  
「STOP 地球温暖化！推進フォーラム」  
「第77回全国都市問題会議」



定住促進奨励金・企業誘致奨励金についての視察(行田市)

## 上田市議会では、多くの行政視察を受け入れています。

上田市には議会運営をはじめ、行政全般に関する項目について、毎年多くの自治体の議員の皆様が視察に訪れています。

昨年度も全国各地から45団体、363人の方々が訪れ、上田市のすぐれた施策や特色ある取り組みについて調査研究をされていきました。

平成27年度に受け入れた行政視察の視察内容を主な分野ごとにご紹介します。

| 視察内容（議会）       | 議会名                               |
|----------------|-----------------------------------|
| 議会運営、議会改革について  | 千葉県北総地区市議会正副議長会、富山県砺波市議会          |
| 議会報告会について      | 新潟県魚沼市議会、阿賀野市議会、福島県鏡石町議会、秋田県大仙市議会 |
| 観光産業振興議員連盟について | 徳島県鳴門市議会                          |

| 視察内容（環境・交通）     | 議会名                         |
|-----------------|-----------------------------|
| 運賃低減バスの取り組みについて | 茨城県日立市議会、山形県鶴岡市議会           |
| 新幹線の駅を活用したまちづくり | 佐賀県嬉野市議会、長崎県佐世保市議会、埼玉県蓮田市議会 |

| 視察内容（教育・文化）   | 議会名                                 |
|---------------|-------------------------------------|
| 幼保小中連携の取り組み   | 岩手県一関市議会、香川県三豊市議会                   |
| サントミュージエについて  | 群馬県高崎市議会、愛知県岡崎市議会、長崎県大村市議会、宮城県仙台市議会 |
| 学校給食について      | 静岡県議会、熊本県宇土市議会                      |
| 校舎の改築について     | 長野県小諸市議会                            |
| 児童館・児童クラブについて | 長崎県平戸市議会                            |

| 視察内容（商工）    | 議会名                                          |
|-------------|----------------------------------------------|
| 産学官連携について   | 群馬県桐生市議会、島根県出雲市議会、宮崎県西都市議会、佐賀県鳥栖市議会、静岡県三島市議会 |
| 若者の就労支援について | 香川県三豊市議会、群馬県太田市議会                            |

| 視察内容（観光）                        | 議会名      |
|---------------------------------|----------|
| 信州上田観光ビジョンに基づく観光資源の磨き方と取り組みについて | 福井県大野市議会 |
| 信州上田フィルムコミッションの取り組みについて         | 山口県美弥市議会 |
| 池波正太郎真田太平記館について                 | 宮城県栗原市議会 |
| 大河ドラマ館について                      | 静岡県浜松市議会 |
| 歴史的資源を生かした観光施策について              | 京都府宇治市議会 |

| 視察内容（保健・保育）               | 議会名                                                                      |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 市民の健康づくりに向けた取り組み、健康都市について | 宮崎県串間市議会、広島県三原市議会、京都府宮津市議会、愛知県安城市議会、兵庫県洲本市議会、佐賀県嬉野市議会、青森県八戸市議会、栃木県上三川町議会 |
| 医師確保について、産婦人科病院について       | 群馬県安中市議会                                                                 |
| 健康プラザうえだについて              | 徳島県鳴門市議会                                                                 |

| 視察内容（その他）         | 議会名      |
|-------------------|----------|
| 有害鳥獣対策について        | 富山県富山市議会 |
| わがまち魅力アップ応援事業について | 東京都瑞穂町議会 |
| 指定管理者モニタリング評価について | 埼玉県桶川市議会 |
| 移住・定住支援について       | 新潟県魚沼市議会 |

## 編集後記

郷土の偉人、山極勝三郎博士が人工がん発生実験に成功して昨年、100周年を迎えました。今年は博士の生涯を描く映画が製作され、当市でもロケが行われています。

ところで、本年は新市合併10周年の佳節を迎えます。新市当初から「議会だより」は発行されていますが、議会改革の一環として広報・広聴のあり方も市議会で活発に議論されるようになりました。「議会だより」の企画・編集には地道な作業も伴いますが、議会の出来事を市民に分かりやすく伝える大切な使命があると思います。

さて、現在の委員による「議会だより」の編集発行は今号をもって最後となります。新委員の皆さんには「意気昂然と二歩三歩」のごとく活躍を期待しています。

（平田 大介）